

トランコム株式会社

2013年3月期第2四半期 決算説明資料

2012年11月6日

証券コード：9058
URL：<http://www.trancom.co.jp>

Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

目次

- 第2四半期連結決算概況
- 第3四半期以降
取り組みと計画

第2四半期連結決算概況

Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

セグメント表記の変更(1)

インダストリアルサポート(IS)事業の新設

海外展開に向けた取り組み ▶▶▶

タイ・インドネシア・中国で生産請負事業を展開

→ 海外での地盤作り



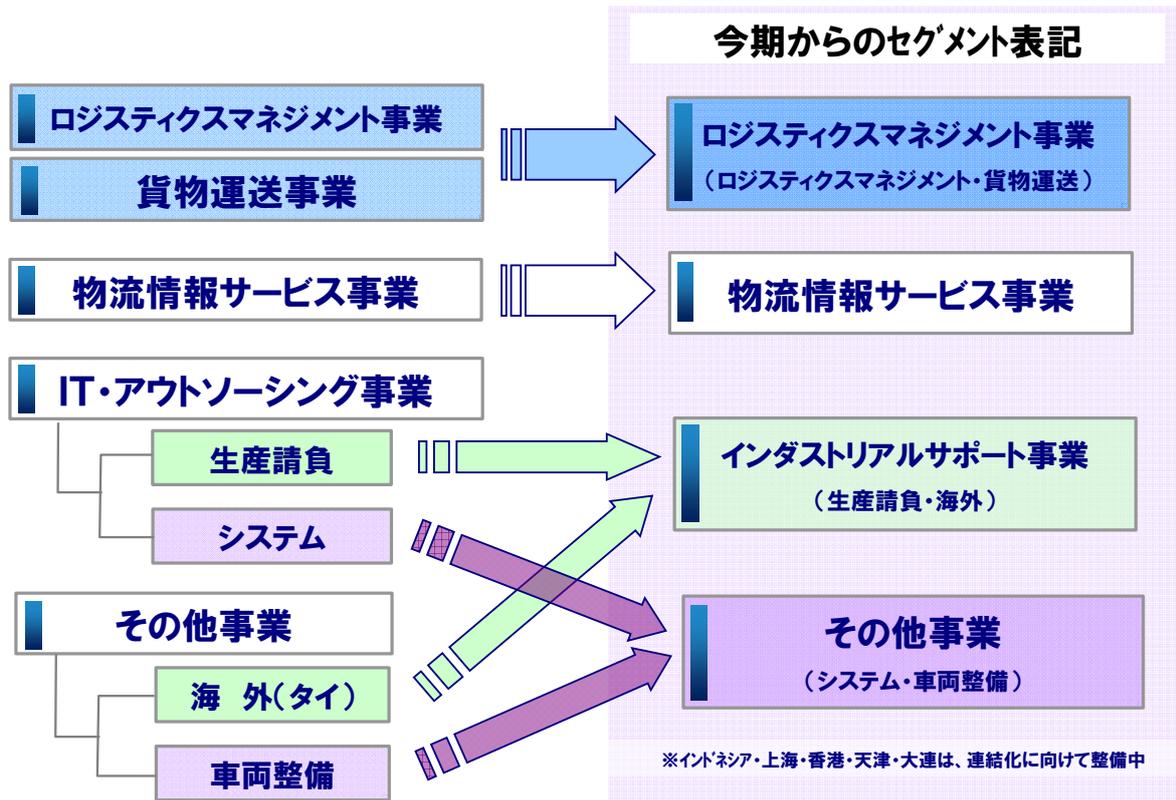
国内での生産請負事業を徹底強化するため、IS事業を新設

国内で人材育成 → 海外へ輩出

LM・物流情報とのシナジー ▶▶▶

主要3事業の強化による
One Stop 3PL の実現





(単位:百万円)

セグメント	訂正前(5月8日公表数値)	訂正後	差異
ロジスティクスマネジメント事業	36,250	35,530	△720 ※1
物流情報サービス事業	48,050	48,050	0
インダストリアルサポート事業	1,820	1,820	0
その他事業	3,220	3,540	320 ※2
連結消去	△1,240	△840	400
連結合計	88,100	88,100	0

※1 ロジスティクスマネジメント事業のセグメント内で消去すべき取引額を、連結消去で消去

※2 連結消去で消去すべき取引額を、セグメント内で消去

過去最高の売上高及び純利益を達成

□ 前期・今期開設拠点の寄与

LM:前期7拠点 今期2拠点 物流情報:前期2拠点

□ 主な新規稼働案件

時期	拠点	業種	エリア	内容・坪数
4月	○	生活衛生用品(メーカー)	北陸・全国	幹線輸送(特定ユーザー直送)
	○	家庭用塗料(商社)	中部	中部DC保管・全国配送(2,500坪)
	●	菓子食品卸	中国	物流センター業務(300坪)
	○	日用雑貨(メーカー)	中部	拠点集約と配送一元化
8月	●	日用雑貨卸	関東	通貨型物流センター(2,300坪)

● 上期 開設事業所(LM)
○ 既存事業所での新規業務

海外展開

□ 生産請負事業の新規拠点を開設

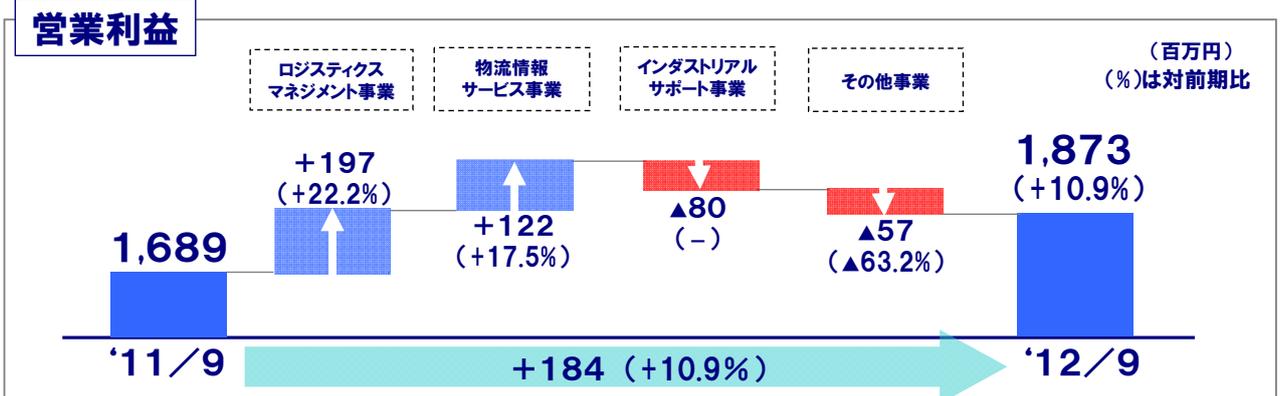
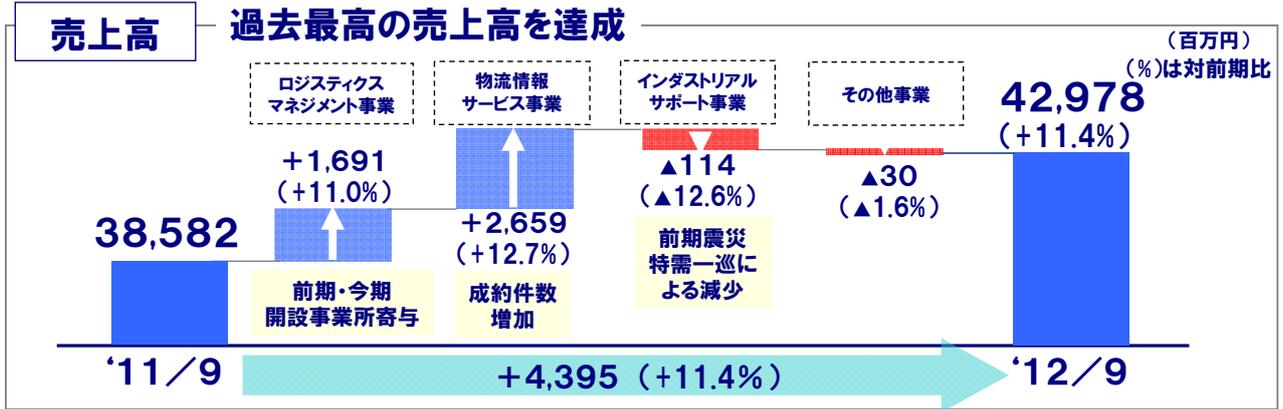
➡ 中国・天津に現地法人設立(7月)、8月より事業開始
事業内容 → 工場内生産ライン請負

(単位:百万円)

	'11年3月期 第2四半期	'12年3月期 第2四半期	前期比	'13年3月期 第2四半期	前期比
売上高	34,932	38,582	+10.4%	42,978	+11.4%
営業利益	1,896 (5.4%)	1,689 (4.4%)	▲10.9%	1,873 (4.4%)	+10.9%
営業外収益	31	84	+168.3%	18	▲78.6%
営業外費用	52	40	▲22.6%	107	+163.3%
経常利益	1,875 (5.4%)	1,733 (4.5%)	▲7.6%	1,784 (4.2%)	+2.9%
特別利益	17	20	+17.6%	45	+123.3%
特別損失	150	11	▲92.1%	12	+6.6%
当期純利益	969 (2.8%)	961 (2.5%)	▲0.8%	1,047 (2.4%)	+8.9%

()内は、売上高比

セグメント別連結売上高・営業利益



ロジスティクスマネジメント事業

前期及び今期新規開設拠点の寄与による増収増益

(百万円)

	'11年3月期 第2四半期	'12年3月期 第2四半期	前期比	'13年3月期 第2四半期	前期比
	売上高	15,095		15,434	
営業利益	1,100	891	▲36.9%	1,089	+22.2%
営業利益率	7.3%	5.8%		6.4%	

- ◆ 前期開設拠点の売上への寄与、イニシャルコストの解消
- ◆ 新規拠点の開設
 - 岡山事業所(4月) : 菓子食品卸
 - 市川ロジスティクスセンター(8月) : 日用雑貨卸
- ◆ 事業所の運営管理(日次収支管理、2S)徹底による生産性の向上
- ◆ 運輸部門のアウトソーシング化による効率性向上

成約件数の増加による増収増益

(百万円)

	'11年3月期 第2四半期	'12年3月期 第2四半期	前期比	'13年3月期 第2四半期	前期比
売上高	18,303	20,877	+14.1%	23,536	+12.7%
営業利益	687	700	+1.9%	823	+17.5%
営業利益率	3.8%	3.4%		3.5%	

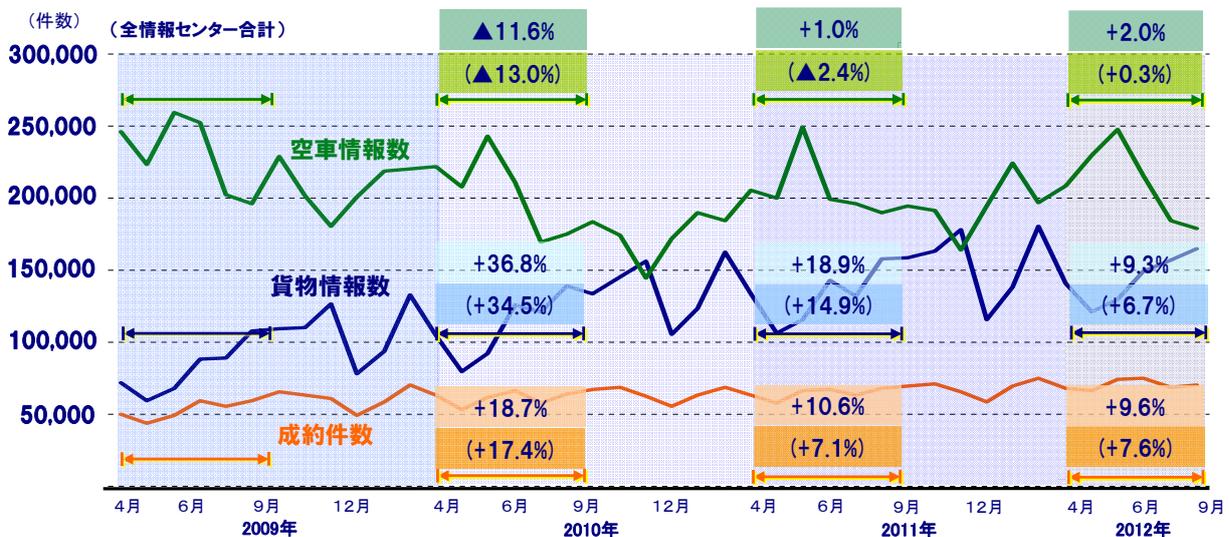
- ◆ 各拠点での人員増、アジャスター対応力強化による成約件数増加
- ◆ 不振情報センターの立て直し
- ◆ 小規模センターの中規模化(10名以上)によるセンター運営の効率性向上
 - 中規模センター 11拠点 → 14拠点
- ◆ 輸送品質の高い専属車両の確保
 - 263台 → 397台へ増加

空車情報・貨物情報・成約件数推移

上段 : 全センターベースでの対前年同期間比(%)

(下段) : 既存センターベースでの対前年同期間比(%)

※既存センター:2009年度期初に開設していた22センター



貨物情報数 に対し、空車情報数 が相対的に減少

▶ 車両確保が難しい状況が続いている

前期震災特需一巡、営業体制強化等による減収減益

(百万円)

	'11年3月期 第2四半期	'12年3月期 第2四半期	前期比	'13年3月期 第2四半期	前期比
売上高	628	912	+45.3%	798	▲12.6%
営業利益	34	52	+51.7%	▲28	—
営業利益率	5.5%	5.7%		▲3.6%	

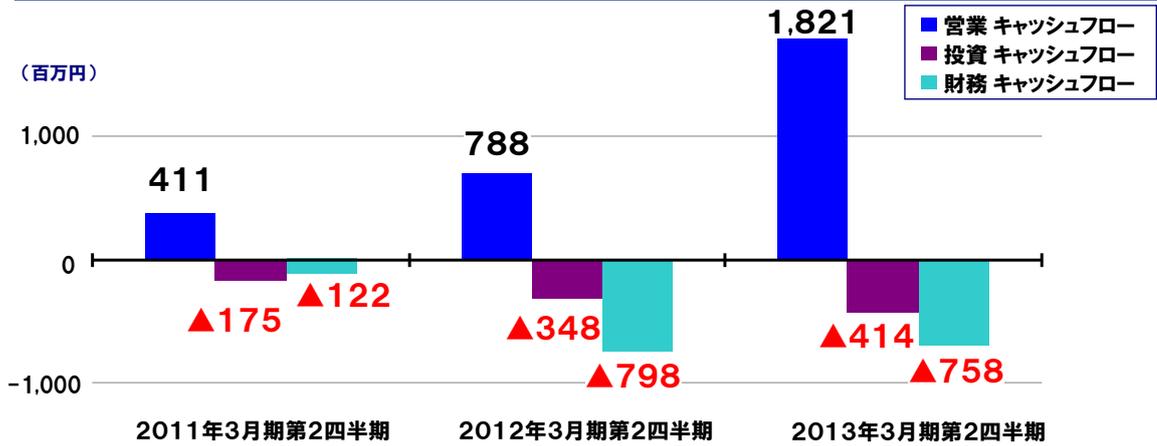
- ◆ 減収 : 前期の震災特需が一巡
- ◆ 新規事業所立上げ(事業フレームの変更)のためのイニシャルコスト発生
- ◆ 営業体制強化のための先行投資による費用増加

連結貸借対照表

(百万円)

	'12年3月 期末	'13年3月期 第2四半期末	内容 ('13年3月期第2四半期末)
流動資産	16,277	16,189	
現金・預金	843	1,490	
売掛債権	14,722	13,939	9月度売上高の季節波動による減少のため
その他流動資産	711	759	
固定資産	12,910	12,857	
有形固定資産	9,973	9,794	
投資その他の資産	2,937	3,062	
資産合計	29,188	29,046	
流動負債	10,327	9,800	
仕入債権	6,022	5,397	売上高に連動した仕入高の減少のため
短期借入金	1,275	1,270	長・短有利子負債合計:1,661百万円
その他流動負債	3,030	3,132	
固定負債	3,599	3,363	
負債計	13,927	13,163	
純資産計	15,260	15,882	自己資本比率54.7%
負債及び純資産合計	29,188	29,046	

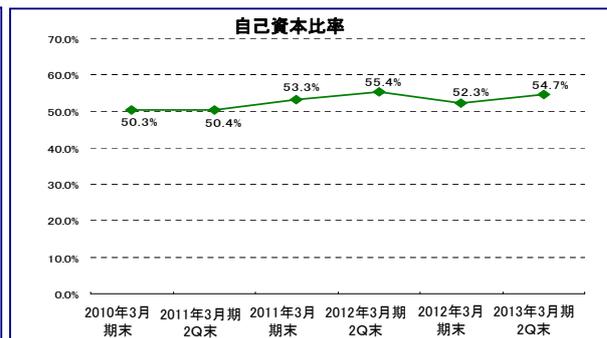
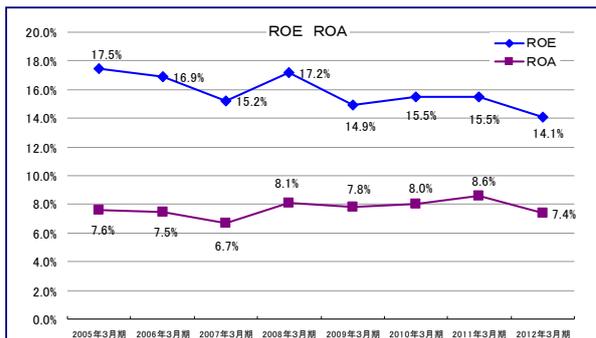
キャッシュ・フロー



- 営業キャッシュフロー** 前年度と対比し、売上債権の減少、法人税等の支払い額の減少等により、キャッシュフロー増加
 売上債権 782百万円 (前期 ▲227百万円)
 法人税等 ▲725百万円 (前期 ▲1,081百万円)
- 投資キャッシュフロー** 固定資産の取得 ▲523百万円(マテハン、システム等)
- 財務キャッシュフロー** 借入返済 ▲137百万円
 配当金 ▲435百万円

主要指標

	'12年3月期 第2四半期	'12年3月期 期末	'13年3月期 第2四半期
期末人員数 (正社員・臨時雇用者:人)	6,228	6,277	6,555
流動比率 (流動資産/流動負債)	152.9%	157.6%	165.2%
固定比率 (固定資産/自己資本)	81.2%	84.6%	81.0%
自己資本比率 (自己資本/総資産)	55.4%	52.3%	54.7%
総資産回転率 (売上高/総資産)		2.79	
R O E (純利益/純資産)		14.1%	
R O A (純利益/総資産)		7.4%	



第3四半期以降 取り組みと計画

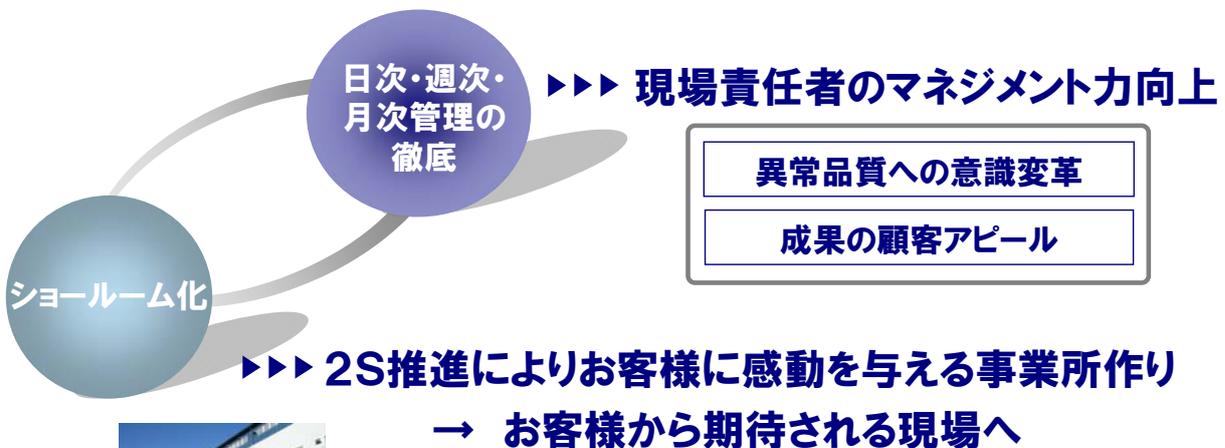
Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

第3四半期以降の主な取り組み

◆ 現場力 強化への取り組み

ロジスティクスマネジメント事業

着実な収益基盤の確保



物流情報サービス事業

情報センターの役割の明確化



▶▶▶ お客様に選ばれる絶対的な存在になるため、営業スキルを引き上げ、アジャスター品質を向上
→ ワンランク上のお客様対応へ



(アジャスターコンテストの様子)



(輸送経済新聞)

(百万円)

	'11年3月期	'12年3月期	前期比	'13年3月期	前期比
	下期	下期		下期	
売上高	37,144	42,955	+15.6%	44,970	+4.7%
営業利益	2,126 (5.7%)	2,155 (5.0%)	+1.4%	2,480 (5.5%)	+15.0%
経常利益	2,094 (5.6%)	2,064 (4.8%)	▲1.4%	2,410 (5.4%)	+16.8%
当期純利益	1,151 (3.1%)	1,072 (2.5%)	▲6.9%	1,400 (3.1%)	+30.5%

()内は、売上高比

新規拠点開設、各拠点の生産性向上による増収増益

(百万円)

	'11年3月期 下期	'12年3月期 下期	前期比	'13年3月期 下期	前期比
売上高	15,805	17,862	+13.0%	17,920	+0.3%
営業利益	1,253	1,241	▲1.0%	1,560	+25.7%
営業利益率	7.9%	6.9%		8.7%	

※今期より報告セグメントを変更しています。そのため、2011年3月期下期、2012年3月期下期については、変更後の報告セグメントに紐替えています。

◆ 下期新規事業所開設

10月 横浜東事業所(加工食品卸)

◆ 北関東、中部、関西の拠点再編

→ 運営体制強化による収益基盤の再構築

◆ 来期新規事業所開設にむけた準備

2013年4月 関西エリア(日用雑貨メーカー)

情報センター強化による増収増益

(百万円)

	'11年3月期 下期	'12年3月期 下期	前期比	'13年3月期 下期	前期比
売上高	19,780	22,860	+15.6%	24,540	+7.3%
営業利益	792	872	+10.1%	920	+5.4%
営業利益率	4.0%	3.8%		3.7%	

◆ センター強化による生産性向上

- 人員増員、アジャスター対応力向上

◆ 専属パートナーとの連携強化による波動対応力向上

- 専属車両 目標 500台(現在397台)

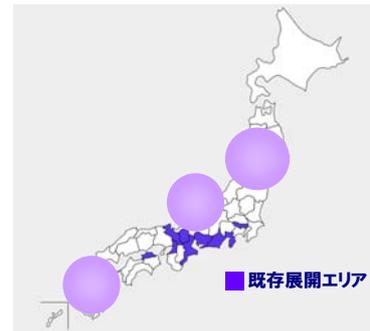
営業体制の徹底強化

(百万円)

	'11年3月期 下期	'12年3月期 下期	前期比	'13年3月期 下期	前期比
	売上高	718	878	+22.3%	920
営業利益	23	25	+8.7%	▲30	-
営業利益率	3.2%	2.8%		▲3.3%	

※今期より報告セグメントを変更しています。そのため、2011年3月期下期、2012年3月期下期については、変更後の報告セグメントに組替えています。

- ◆ 既存エリアでの営業人員の増加
- ◆ 新規エリアへの営業展開
→ 東北、北信越、九州地区へ
- ◆ 赤字拠点の収益化に向けた取組み
- ◆ 改正派遣法への対応(2012年10月施行)



過去最高の売上高、営業利益達成へ

※通期の業績予想を次の通り修正

(百万円)

	'11年3月期	'12年3月期	前期比	'13年3月期 (修正予想)	前期比
	売上高	72,076	81,537	+13.1%	87,910
営業利益	4,022 (5.6%)	3,845 (4.7%)	▲4.4%	4,350 (4.9%)	+13.1%
経常利益	3,969 (5.5%)	3,797 (4.7%)	▲4.3%	4,190 (4.8%)	+10.3%
当期純利益	2,120 (2.9%)	2,034 (2.5%)	▲4.1%	2,440 (2.8%)	+20.0%

()内は、売上高比

ロジスティクス マネジメント事業	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期 (修正予想)	
			前期比	前期比
売上高	30,900	33,296	+7.8%	35,000 +5.1%
営業利益	2,353	2,133	▲9.4%	2,650 +24.2%
営業利益率	7.6%	6.4%		7.6%

物流情報 サービス事業	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期 (修正予想)	
			前期比	前期比
売上高	38,083	43,737	+14.8%	48,080 +9.9%
営業利益	1,479	1,573	+6.3%	1,740 +10.6%
営業利益率	3.9%	3.6%		3.6%

インダストリアル サポート事業	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期 (修正予想)	
			前期比	前期比
売上高	1,346	1,791	+33.0%	1,720 ▲4.0%
営業利益	57	77	+33.5%	▲60 -
営業利益率	4.3%	4.3%		▲3.5%

巻末資料

中期経営計画<FF2015>



Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

中期経営計画<FF2015>

名称

Fusion Focus 2015 FF2015

Fusion (融合) Focus (集中)

基本方針

- 主要事業の徹底強化
- One Stop 3PLの実現に向け
経営資源を徹底投入

目標
ポジション

- ◆ 3PL事業 **TOP3**
- ◆ **各エリアNo.1**の物流事業者

定量
目標

売上高
1,100 億円

営業利益
60 億円

営業利益率
5.5 %

(1) 全国ネットワークを構築(完成・強化)し、お客様対応力を高める

(2) 幹線輸送の圧倒的ポジションの確立に向け、サービス機能の強化と事業のあり方を見直し、新マーケットを創造する

(3) 生産請負事業を国内・海外事業の柱としていくため、強みを磨き、他社との差別化を図る

(4) 提案力・サービス機能を強化し、お客様の課題解決力を高める

事業成長のスピードアップを図る投資を、積極的に行う

投資額(3ヶ年累計)

200億円を活用

M & A

機能の確保・エリア補充

設備・拠点等

情報システム・物流センター

資本効率を意識した事業・投資戦略を実行する

継続目標

ROE : 15.0%以上
ROA : 8.0%以上

ROA: 純利益 / 総資産(期中平均)
ROE: 純利益 / 純資産(期中平均)

資産の部

ROA
8.0%
以上

負債の部

資本の部

ROE
15.0%
以上

会社概要・事業紹介

Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

プロフィール

商 号 トランコム株式会社 (TRANCOM CO.,LTD)

営 業 種 目 ・物流情報サービス事業 ・物流センター構築運営事業 ・貨物運送事業 ・生産請負事業

本 社 所 在 地 名古屋市東区葵一丁目19番30号

代 表 者 代表取締役 社長執行役員 清水 正久

設 立 年 月 日 1959年6月22日

資 本 金 10億8,004万円

主 要 取 引 先 アコムレンタル(株)、イチビキ(株)、(株)エフピコ、岡本(株)、コープかながわ、(株)湖池屋、(株)CJプライムショッピ
 ※五十音順、敬称略 ング、(株)スズケン、総武物流(株)、ダイキン工業(株)、東海コープ事業連合、(株)東海シジシー、
 (株)ニトリ、(株)ノーリツ、白十字(株)、パナソニックロジスティクス(株)ユニ・チャームプロダクツ(株)

グループ会社

トランコムDS株式会社

TRANCOM DS 貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業等

トランコムITS株式会社

ITS ソフトウェアの開発・設計、コンサルティング及び導入支援、
パッケージソフトの開発販売

メカリス株式会社

自動車整備事業(車検・整備・钣金塗装)、新車・中古車の販売、
自動車電装品の販売・修理、保険代行業

トランコムEX東日本株式会社

TRANCOM EX 貨物自動車運送事業

トランコムMA株式会社

TRANCOM MA 貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業等

トランコムISS株式会社

製造・物流請負事業

特蘭科姆国際貨運代理(上海)有限公司

TRANCOM 国際貨物運送代理業務(海運・空運・梱包)

特蘭科姆物流(大連)有限公司

TRANCOM 求貨求車事業

TRANCOM (HK) Co.,Ltd.

TRANCOM フォワーディング業務、倉庫業務、物流コンサルティング業務

PT.TRANCOM INDONESIA

TRANCOM ロジスティクスマネジメント事業、アウトソーシング事業

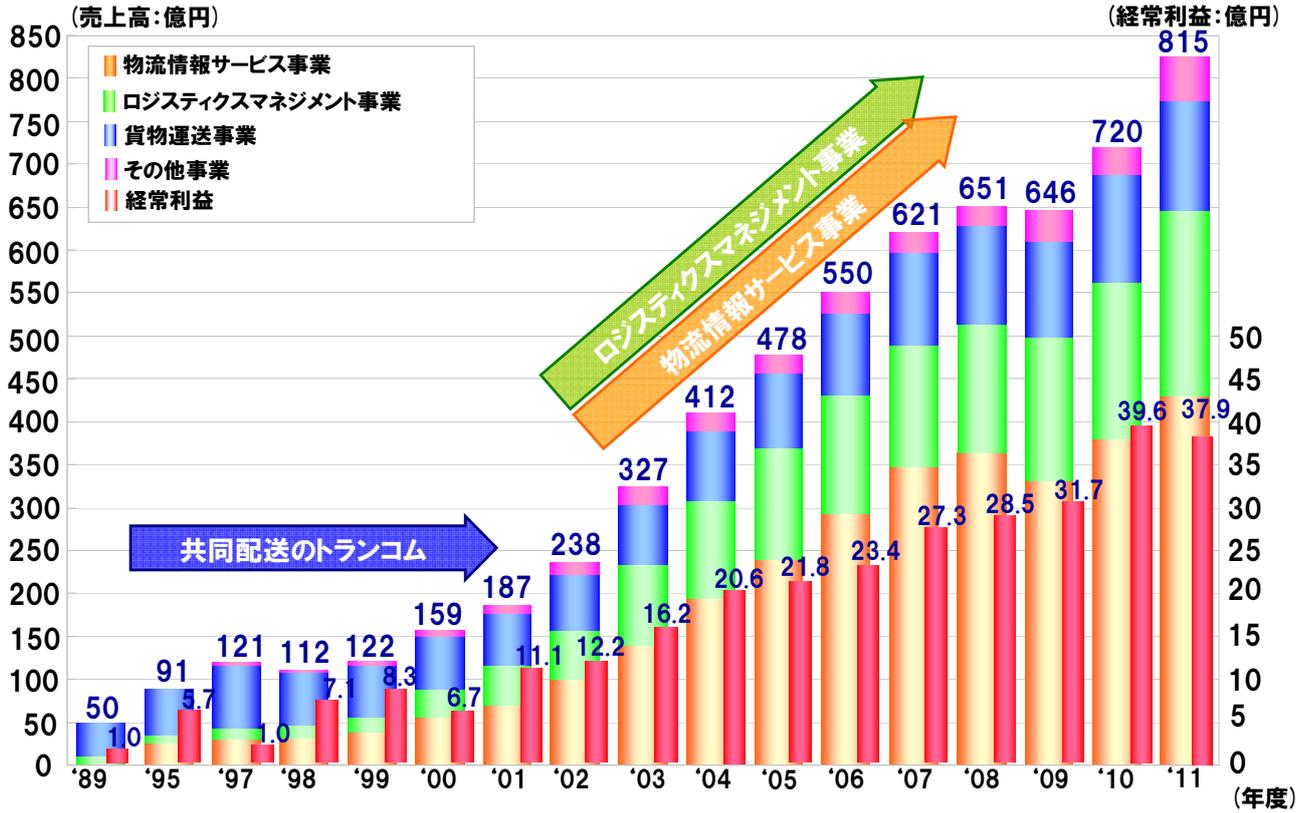
C&C BANGKOK Co., LTD.

CandC 生産請負事業

特蘭科姆人才服務(天津)有限公司

生産請負事業、人材派遣事業

会社概要 ～業績推移～



Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

TRANCOMグループ ネットワーク

物流のプロフェッショナルが、あらゆる側面から、幅広いネットワークでサポートします
全国101拠点 海外6拠点展開



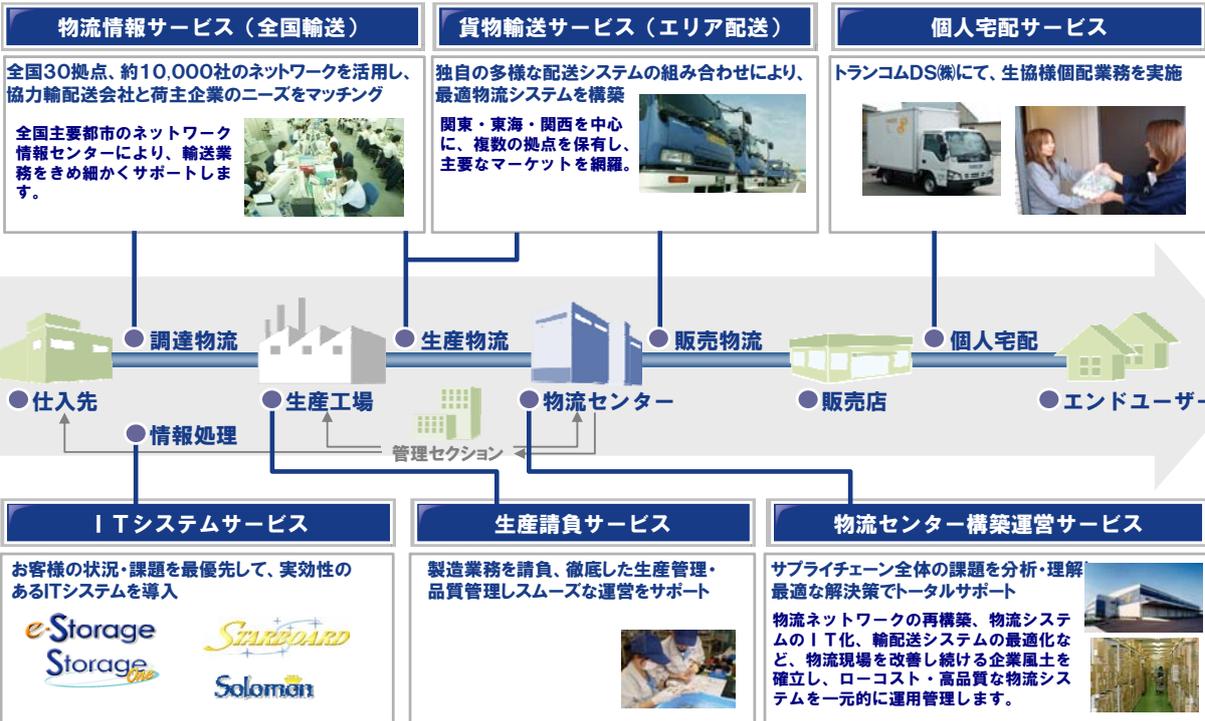
2012/8末 現在

Copyright(c)2012 TRANCOM CO.,LTD.All Right Reserved

TRANCOMのサービス領域

TRANCOMは最適物流システムを構築し、お客様を全面的にサポートします

プランニングから運営管理・オペレーションまで。TRANCOM独自の多彩なシステムや機能を自在に組み合わせることでお客様のニーズにお応えする最適物流システムの構築を実現します。



物流センター構築運営サービス

サプライチェーン全体の課題を分析し、最適な解決策で、構築から運営まで、トータルにサポートします

TRANCOMは、物流を知り尽くした「人の知恵」と、物流の視点から開発した「ITの支援」により、物流センターの継続的な改善を実現します。お客様企業と物流指標・品質・問題点を共有し、物流センター全てのオペレーションにおいて効率運営と改善活動を実践しています。

物流システム構築

実績データ分析、現状の問題点、事業伸張予測などから、様々な側面を勘案し、最適な機能を持つ物流センターをご提案します。

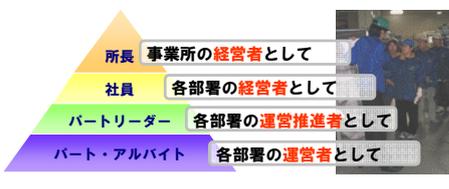


庫内運営管理

日々の変化に迅速かつ柔軟に対応できるしくみをつくり、物流業務の安定運営を通して持続的な発展を支援します。

人材育成

定期的なミーティング・パートリーダー制の導入により、職務毎に的確な人材育成を行っています。



品質の追求

荷主様と共に、設定した物流KPIに対する実績検証を定期的に行い、3PLパートナーとして、継続的に改善し続ける風土の確立に努めています。また、改善シート提出制度を設け、実際に現場で働く社員・パートによる改善活動を推進しています。



物流センター構築運営サービス

主要拠点一覧

小牧ロジスティクスセンター



所在地	愛知県小牧市
敷地面積	4,230坪
延床面積	4,601坪
構造	鉄骨構造地上2階 高床
設立	2000年5月

東海ロジスティクスセンター



所在地	愛知県東海市
敷地面積	5,180坪
延床面積	6,818坪
構造	S造地上3階 耐火建築物
設立	2007年2月

静岡ロジスティクスセンター



所在地	静岡県掛川市
敷地面積	9,166坪
延床面積	6,313坪
構造	S造 地上2階 高床
設立	2010年3月

加須ロジスティクスセンター



所在地	埼玉県加須市
延床面積	2,207坪 倉庫:1,304坪 軒下: 903坪
構造	低床式倉庫 地上1階

騎西ロジスティクスセンター



所在地	埼玉県加須市
延床面積	3,578坪
構造	高床式倉庫 地上2階

稲沢ロジスティクスセンター



	ドライ棟	チルド棟
所在地	愛知県稲沢市	
敷地面積	7,631坪	
延床面積	2,756坪	1,174坪
構造	鉄骨造 地上2階	S造 地上1階
設立	2002年	2010年

久喜ロジスティクスセンター



所在地	埼玉県久喜市
延床面積	5,672坪
構造	低床式倉庫 地上2階

物流情報サービス（全国輸配送）

全国30拠点、約10,000社のネットワークを活かし、協力輸送会社と荷主企業のニーズをマッチング

全国No.1の求貨求車ネットワークを持つTRANCOMの物流情報サービスだからこそ実現できるサービス。
全国主要都市のネットワーク情報センターにより、輸配送業務をきめ細かくサポートします。

求貨求車 - マッチングサービス



全国の協力輸送会社からの車両運行情報を集約し、お客様のニーズにジャストフィットする車両をマッチングするサービスです。
TRANCOM独自のネットワークを活かし、定期的な幹線輸送から波動対応のスポット輸送まで、フレキシブルに対応します。

空車情報と貨物情報をマッチング



求貨求車システム コンパス



求貨求車システム「コンパス」は、アシスターと呼ばれる営業スタッフの「支援システム」として開発されました。
業務の全てを自動化するのではなく、情報と情報の間に人が介在することで、きめ細かく最適なサービスをご提供しています。



- ▶ 適合車両検索作業を標準化
- ▶ 積地への誘導指示なども的確に対応
- ▶ 品質管理の徹底によるトラブルの未然防止
- ▶ イレギュラー時の車両追跡にも即時対応
- ▶ 受領書返送システム

セイフティネット - 輸送貨物の高額貨物事故対策制度

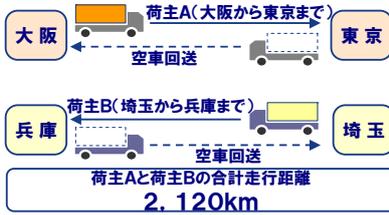
割安な掛け金(高額事故サポート料)による高額保証制度を導入し、パートナー企業様が安心してご利用いただける仕組みとしています。

- ▶ 荷主企業様の不安払拭
- ▶ 輸送協力会社様に対する高額賠償責任の回避

基幹物流一括請負サービス



求貨求車による経済的で環境にも優しい、基幹物流一括請負サービスです。
固定車両をラウンド化させることで、輸送品質を保持したままコストダウンが可能となります。また、空車回送が削減され、CO2削減にも貢献しています。



- ▶ ラウンド運行によるコストダウン
- ▶ 固定車両による輸送品質保持
- ▶ 繁忙期等の波動対応
- ▶ コア業務へのシフト(事務作業軽減)

物流情報サービスのCO2削減効果
年間総CO2削減効果
▲5.7万t-CO2
2008年8月 (※日本総合研究所調査結果)

中ロット輸送対応

日々の物量増減と多様化する納入ニーズにも対応出来る、新たな『中ロット貨物』輸送フレームを構築。

- 中ロット貨物
- ・路線便を使用した場合
 - ・中ロット出荷の場合は運賃が割高
 - ・繁忙期の残貨が心配
 - ・無梱包・長尺物は敬遠される
 - ・貸切便を使用した場合
 - ・低積載率なのに高コスト
 - ・重量・スペースに応じた運賃設定が難しい



▶ 設定が難しい中ロット貨物の輸送モードを確立

海外への展開

中国・大連で輸送サービスを展開する大連創新零部件製造会社と合併会社を設立。
近年、貨物量が増加する一方、幹線輸送費を中心に物流コストが高い水準にある中国にて、お客様への効率的な物流サービスの提供を目指します。

特蘭科姆物流(大連)有限公司
設立：2012年1月
従業員数：7名



作業を迅速・正確に管理する事により、作業の効率と生産性の向上を実現します

資材の調達から生産・品質管理など、製造のコアとなる現場を効率よく取りまとめる事によって、合理的で最適な運営構築をご提案、スムーズな運営をサポートします。

生産請負事業

まずはお客様の業務を深く理解する事から始まります。その中で従来のシステムに固執するのではなく、お客様にとって最適業務をご提案します。

製造請負

ラインレイアウトから生産梱包まで、
単一ライン~工場全てを請け負います。

- ラインレイアウト
- 組み立て(ライン作業)
- 設備・工具の点検・保守
- 検品・検査

管理業務請負

生産・品質・商品管理はもちろんのこと、検品・
出庫、さらにはその後の在庫確認と生産計画ま
でを厳しく管理する事により、不良品の流出や欠
品などの事故を未然に防止します。



請負
ノウハウ

コンプライアンス
遵守

改善活動

日々・月次
収益管理

物流企業として培ったノウハウを
生産請負事業に展開

海外事業

近年、アジアを中心に海外へも拠点展開を進め、
海外でも国内同等の高いクオリティをご提供します。

タイ

C&C BANGKOK Co.,LTD
設立：2008年9月
事業内容：業務請負事業
従業員数：470名

インドネシア

PT.TRANCOM INDONESIA
設立：2010年1月
事業内容：ロジスティクス管理事業
アウトソーシング事業
従業員数：2,000名



中国

特蘭科姆人才服務(天津)有限公司
設立：2012年7月
事業内容：生産請負事業・人材派遣事業
従業員数：120名

特蘭科姆国際貨運(上海)有限公司

設立：2011年7月
事業内容：国際貨物運送代理業務(海運・空運・梱包)
従業員数：120名

TRANCOM(HK)LIMITED

設立：2010年7月
事業内容：フォワーディング業務、倉庫業務、
物流コンサルティング業務



ソリューション事例①(物流業務一元管理)

当社の強みである物流情報サービス事業とロジスティクスマネジメント事業の連携により、物流業務全体を運営・管理することで、情報共有・品質レベルを統一し、品質向上と物流コスト削減を実現しました。

お客様の課題・問題点 衛生用品の製造販売を行うお客様は、以前から自社での物流効率化の業務改善に取り組んでいました。しかし、複数の委託会社毎に行われる改善活動は、部分的な最適化に留まっている状態でした。

サービス導入後の効果 SCMの一連の流れにおける生産から販売までの物流業務全般を、3PLパートナーとして当社がコントロールする体制に変更。当社の現場力とメーカー様に応じて構築したWMSの導入により、コスト及び品質面において大きな効果を得ております。

トランコム物流情報サービス

- 全国工場の生産情報を集約し、幹線輸送の配車を全てコントロール
- 約240%の波動にも対応

通常 50台 → ピーク時 120台



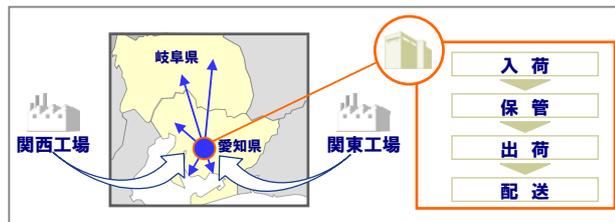
- 改善効果**
- ソフト・ハードの見直しによる 出荷・保管能力の向上
 - 保管能力** ... 庫内レイアウトの見直し、外部倉庫の集約
5,000坪 ⇒ 10,000坪
 - 出荷能力** ... ハース増設、タイヤ枠見直し
50,000CS ⇒ 120,000CS
 - 管理一元化、KPI管理の実施による 品質・生産性の向上と管理基準の統一
 - 物流情報サービスの情報量・集車力による欠車リスク回避
 - WMS導入とセンター運営力による入出庫作業の効率化・補充遅れによる欠品の撲滅
- 業務全体の見直しによりリスクを低減
安定した物流サービスのご提供を実現しました

ソリューション事例②(幹支線輸配送)

中部・静岡県の幹支線輸送業務の構築と一元管理を実施。エリア拠点のTC化、物流情報サービス事業のネットワーク活用により、オーダー(物量スライド)に対応した配車・配送を実現しました。

提案前の状況

関東・関西それぞれの工場で製造された商品を、当社の愛知県内在庫拠点にて保管し、愛知県・岐阜県南部の得意先への配送を行っていました。



- 事業拡大に伴う在庫膨張 (在庫スペースの確保)
- 配送エリアの拡大
- 物流コスト削減

提案内容

TC化

愛知県内在庫拠点を廃止し、関東・関西工場から出庫された商品をトランコム名岐事業所にて当日早朝に入荷、クロスドックし、愛知県・岐阜県の得意先へ当日配送

物流情報サービスの活用

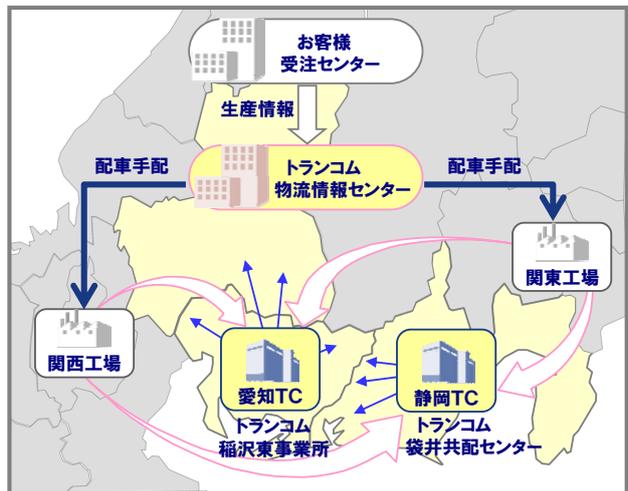
クロスドック供給は物流情報サービスを利用することで日々の物量波動に対応、かつ低コストな幹線輸送を実施

配送エリアの拡大

静岡地区(富士以西)も中部圏同様に、トランコム袋井共配センターにてクロスドックし、静岡地区の得意先へ配送

提案効果

- TC化による在庫削減
- TC化により固定費用(家賃・荷役)をTC変動コストに転換
- 物流情報サービスの活用による幹線輸送コストの削減



目指す企業像

わたしたちは期待される存在でありたい

お客様・取引先はもちろん、社会・従業員・家族全てから期待される存在を目指します。
相手の視点に立って物事を考え、挑戦することにより、期待に応える企業を目指します。

グループ精神

誠実、創造、挑戦、団結、感謝

グループ行動原理

誠意を以ってことにあたる

グループ行動指針

明るく元気にあいさつをします

ルールと約束を守ります

広く学び、良く考えます

スピード感を持って動きます

意志をもってやりきります

仲間と助け合います

ありがとうございますを大切にします



本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社 経営企画グループ

TEL:052-939-2023 FAX:052-939-2015

MAIL: ir_info@trancom.co.jp

ホームページ <http://www.trancom.co.jp>

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。